

科目名	浄土三部経講読演習 I 1 - 2					単位	2.0
担当教員	廣瀬 惺						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	4215

●授業のテーマ
「大経」の講読

●到達目標

おおよそ「大経」がどのような内容の経典なのか、そして、人間にとってどのような意義をもつ経典なのか、言葉で説明できるようになる。

●学習内容(授業概要)

真宗の世界を説いている経典が浄土三部経である。法然上人はその浄土三部経と、三部経に相応して著された天親菩薩の『浄土論』に依って「浄土宗」を立宗された。これまで三部経に道を尋ねて来られた先人たち、なかんずく宗祖親鸞聖人に導かれて、三部経に学んでいきたい。

特に、今年度は『大経』に学ぶのであるが、前期には『大経』上巻の四十八願以前を講読することとする

●学習内容(授業計画)

1. 浄土三部経とは何か (総論)
2. 浄土三部経とは何か (その学び方)
3. 親鸞の三経観
4. 「大経」の構成 (総論)
5. 「大経」の構成 (善導の科文)
6. 証信序 (六成就)
7. 証信序 (菩薩嘆徳の意義、特に八相成道)
8. 証信序 (菩薩嘆徳の意義、特に還相遊諸仏国)
9. 発起序 (阿難の座起)
10. 発起序 (五徳現瑞)
11. 勝因段 (過去五十三仏)
12. 勝因段 (世自在王仏と法蔵比丘の出遇い)
13. 勝因段 (発願)
14. 勝因段 (発願の展開)
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回、次回の授業について予習しておくべきことを指示するので、その指示に基づいて予習をして授業にのぞんでください。また毎時間、学んだ内容を記したノートで、復習として読み直してください。

●成績評価方法・基準

試験 8割

出欠等平常点 2割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：真宗聖典、出版社：東本願寺出版部、販売先：学内

●参考文献／その他

特に無し

●履修上の注意

受講生の皆さんとの呼応を大切にしたい。授業への積極的な参加を望む。